

ついにやられた！ 西緑地にナラ枯れ病襲来

能ヶ谷西緑地ふるさとの森 ナラ枯れ病被害報告第一弾 (2021. 7. 24)

おかしいと思ったのは7月の中旬だった。葉の色が少し赤っぽいような・・・

それから一週間あまり、7月20日には、全ての葉が茶色になっていた。根本にはベージュ色の米ぬかのような木屑が、まるで雪が降ったかのように積もっている。

ああ～ついにやられた。ナラ枯れ病にやられた！

ナラ枯れ病にやられたのは、平和台住宅の下、花広場と呼んでいる広場の林側に立つ太いコナラだ。太さ直径40cmはあるだろう。周囲は杉が囲んでおり、青い杉の葉に囲まれて真中に真茶色の枯れたコナラ。目立つ事、目立つ事。

発見第一号のコナラを回りこみ、林の中に入ると、次々に茶色くなったコナラが続出。どん詰まりの竹林の中にも2本、枯れた樹が立っている。いずれも太いコナラだ。

根元にフラス（虫の糞と木屑が混じった物）が散らばる部分の皮を剥いても、につつきカシナガキクイムシは見つからない。

中央広場に下りると、直径30cmにも満たないコナラもやられている。中央広場の端に立つ径50cmほどのイヌシデの葉も茶色くなっている。広場側にフラスは見られないが、がけ側になる裏側を見ると、フラスが積もっている。

北側斜面にも太いコナラが2本立ち枯れている。西緑地全体では、コナラ10本以上のみならず、イヌシデさえもカシナガキクイムシが媒介するナラ枯れ病という伝染病にかかり、どの木も息も絶え絶え状態だ。

昨年の2020年、町田市全体でナラ枯れ病が問題になった頃、西緑地でも調査を行なった。その時はナラ枯れ病に侵された木は発見されず、西緑地には関係ないとばかりに楽観し、トラップをつけることも怠っていた。そのつけがこれだ。このままでは能ヶ谷西緑地ふるさとの森のコナラは全滅。何もしないで放置すれば、来年はシラカシや桜がやられるかもしれない。

どうしたものだろう。

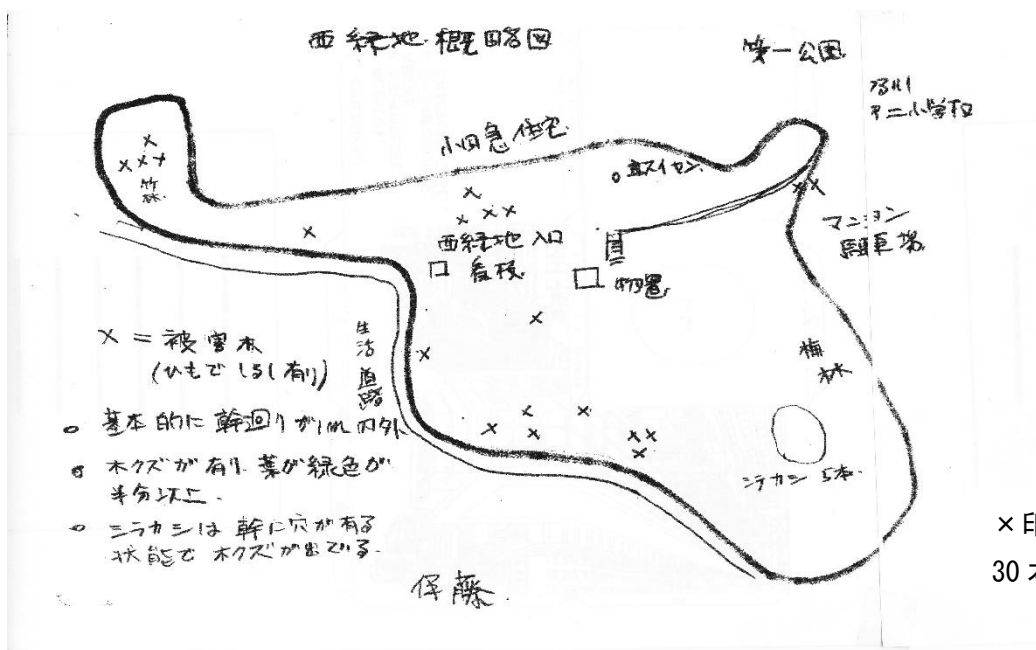
切り倒すのも容易ではないが、切り倒せたとしても、運び出して焼却や燻蒸処理をすることも出来ない。殺菌消毒も方法が分からない。

みんなで頭を抱えるが、妙案も浮かばない。

取りあえずは市に早急に連絡し、指示を仰ぐより他はない。分からないままに、上半期の作業は終了し

て、一ヶ月の夏休みに入り、みんなの宿題となった。

(勝田)



×印は被害木、30本以上ある。